

防火標語
守りたい
未来があるから
火の用心



発行所
公益財団法人長野県消防協会
(長野県庁西庁舎)
〒380-8570
長野市大字南長野字幅下 692-2
TEL (026) 232-5319
編集発行人
福澤 賢治

長野県消防協会 <http://naganoken-syouboukyoukai.com/>



新年のごあいさつ

公益財団法人長野県消防協会会長
福澤 賢治

新年明けましておめでとうございます。県下77消防団、2万8千7百人余の団員をはじめ、消防関係者の皆様におかれましては、健やかに令和7年の新春を迎えることとお慶び申し上げます。

消防団員の皆様には、自らの生業と家庭を持ちながら、郷土への愛着と使命感をもって住民の皆様を命、身体及び財産を守り、安全、安心な暮らしを確保するため、日夜精励されておられますことに、敬意と感謝の意を表します。また、日頃より長野県消防協会の各種事業に御理解と御協力をいただいていることに、厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年1月1日の石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震から一年が経過しました。亡くなった方、行方不明者、負傷者の人的被害は千八百名を超え、住家被害も約14万9千棟という甚大なものとなっており、災害がいつ起きてもおかしくない

こと、日頃の備えが大事なことを改めて思い知らされました。国内各地の災害は、7月下旬の山形・秋田豪雨災害、8月末には台風10号の列島縦断、そして9月には再び能登地方を豪雨災害が襲いました。また、各地で地震が相次ぎ8月8日には南海トラフ巨大地震臨時情報が出されるなど全国が緊張に包まれました。

長野県内においては、昨年も火災の発生が多く、広範な山林火災、住民が犠牲になられた痛ましい住宅火災や鎮火まで数日を要した大規模な工場火災などがありました。昼夜を問わず出動し、消火、警戒誘導に当たられた消防団員の皆様には御慰労と感謝を申し上げます。

北信、東信地域を中心に、河川の氾濫や土砂崩落等による住宅やインフラに甚大な被害を及ぼした令和元年10月の台風災害から昨年は5年を経過し、県下各地で防災の催しが行われました。

気候変動の影響も顕著

となり、自然災害も甚大かつ大規模化してきており、地域と住民の状況に熟知して活動する消防団に寄せられる地域の期待は大きく、我々の使命は益々重要になってまいります。

当協会は、昨年5月末に新しい体制となり早くも半年以上経過いたしました。この間、複数回の理事会をはじめ7月の第66回県消防ポンプ操法・第33回県消防ラップ吹奏大会、9月の消防殉職者慰霊祭、10月には県消防団長・事務主任研修大会と県女性消防団員活性化大会の同時開催など、県下消防団員の皆様の御協力をいただき計画通りに事業を進めてまいりました。

全国においては、10月、県消防ポンプ操法等大会の第一部ポンプ車操法の部で優勝した諏訪市消防団が宮城県で行われた全国消防操法大会で見事に準優勝に輝き、全国に長野県の消防団のレベルの高さを披露していただきました。

同じく10月、栃木県で

開催された全国女性消防団員活性化とちぎ大会に、各地区消防協会から選出いただいたいる県女性消防団員活性化会議のメンバーの皆様はじめ大勢の県内消防団員の皆様とともに参加し、女性消防団員の熱意を感じることができました。特に女性団員の活躍には、団員減少に悩む中、これからの団活動への大きな希望を得たところですので、全国各地の消防団員の方々と交流し、体感した熱量を県内の消防団員にもお伝えし、今後の活動にも生かしていきたいと思っております。

さらに、消防団活動への理解促進と団員募集のための取り組みを推進するとともに、やりがいや魅力ある消防団、誰もが入って良かったと思う消防団づくりを支援するため知恵を出していきたいと思っております。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますように、また災害のない平穏な年となりますように心からお祈り申し上げます。



会長	福澤 賢治
業務執行理事	坂巻 剛弘
副会長	出澤 重樹
副会長	奥原 康隆
常務理事	柏木 智良
理事	小野 政仁
理事	由井 宏
理事	上原 亮一
理事	丸山 貴弘
理事	上沼 隆弘
理事	丸山 巖
理事	横前 敏武
理事	澤木良太郎
理事	宮坂 明直
理事	沖中 良偉
理事	瀬在 順一
理事	藤沢 和人
理事	片桐 浩
理事	小菅 和重
理事	菊原 和博
理事	清水 良文
理事	原山 幸治
監事	
評議員	五十嵐幸男
評議員	篠原 充彰
評議員	清水 健悟
評議員	二木 弘
評議員	松本 道夫

謹賀新年

公益財団法人
長野県消防協会

第3回理事会開催

令和7年度事業方針を決定

12月6日（金）、第2回専門委員会と第3回理事会を長野市で開催しました。各理事が担当の総務、教養、福利厚生等の各専門委員会、7年度事業方針案を協議。続く理事会では各委員長が報告し、大筋で承認されました。理事会で協議された来年度の県消防ポンプ操法等大会の概要案については、ご意見を踏まえさらに協議していただきます。



総務専門委員会関係

①基金運用、日本消防協会・県消防協会定例表彰、消防団員の活動に対する事業所等への協力依頼について従来どおり行います。

②広報活動は、ホームページの「消防団PR動画集」に、消防団や地区消防協会が作成した動画を掲載します。また、「消防団員募集」のコーナーは、市町村や総務省消防庁の関連コーナー

へのリンクを貼り広報に努めます。機関紙「信州消防」やフェイスブックでも主要な行事の紹介や、地区協会、消防団の実施事業やトピックスを掲載します。

③女性消防団員活性化会議を引き続き開催し、県内女性消防団員の交流、情報交換を促進します。また、8年度に行う女性消防団員活性化大会の内容を検討します。

④県の関与として、6年度も今年度と同様の事業費補助及び当協会運営への参加を依頼します。

教養専門委員会関係

①第67回県消防ポンプ操法大会は、7月13日（日）、県消防学校で行います。運営方法は今後実施要綱を作成し、理事会で協議いただきます。

②選手及び選手関係者の負担軽減と競技の効率化のため、今年度同様に入替え方式とします。

開始式には各地区協会の実情に応じて理事を含め5名から10名程度の参加を依頼します。

消防団活動のPRと理解促進のため、来賓を招き、報道関係者に広報します。

②第34回県消防ラッパ吹奏大会は、期日は県消防ポンプ操法大会と同じ、場所は県消防学校屋内訓練場で行います。

①実施要領は大きな改正はない見込みです。

②運営方法は今年度大会と同様に

地区協会ごとの入替えとします。吹奏の時間をポンプ操法競技の時間とずらしします。

③ブロック推薦審査員は、ブロック内の各地区協会で協議した上で決定し、報告いただきます。3月の第4回理事会の承認をもつて正式決定とします。

④ラッパ吹奏講習会は県消防学校ラッパ科講師の指導のもと、ブロック推薦審査員4名にも参加いただき4月19日（土）午後、県消防学校で行います。

③第15回長野県消防団長事務主任研修大会を10月8日（水）午後1時から、松本市のキッセイ文化ホール（長野県松本文化会館）で行います。

④副団長講習会は、6月7日（土）午後、県消防学校で行います。

⑤消防団員指導員研修は、12月11日（木）と12日（金）に一泊二日の日程で県消防学校で行います。

⑥消防団員幹部特別研修（日本消防協会主催）は、1月13日（火）から16日（金）まで東京都で行われます。参加者1名の割当は、中信ブロックです。

⑦消防団幹部候補中央特別研修（日本消防協会主催）は、男性が1月28日（水）から30日（金）、女性が2月18日（水）から20日（金）まで東京都で行われます。参加者男女各1名の割当は、東信、南信、北信の各ブロックです。

⑧第26回全国女性消防操法大会は、10月28日（火）（27日（月）は激励交流会）に神奈川県横浜市で行われます。中信ブロックからの推薦です。（理事会で安曇野市女性消防団に決定）

⑨第30回全国女性消防団員活性化長崎大会は、11月13日（木）に長崎市で開催されます。

福利厚生専門委員会

①日本消防協会の消防団員等福祉共済は、県下消防団員が全員加入しています。消防個人年金、女性防火クラブ員等福祉共済、全日本消防人共済会の火災共済にも多くの団員に加入いただくよう、各団に呼び掛けていきます。

②県消防関係殉職者慰霊祭は9月3日（水）長野市花園平で行います。開催当番は県消防長会です。

③第44回全国消防殉職者慰霊祭は、9月11日（木）東京都で行われます。

④日本消防協会の福祉共済及び長野県消防協会定款細則に基づく弔慰金等について、請求漏れがないように制度の周知を図ります。

⑤信州消防団員応援ショップ事業について、団員へ周知するため、ホームページや機関紙「信州消防」により積極的に広報します。

信州消防団員 応援ショップ

店舗登録
募集中!

消防団員とご家族のご利用をお待ちしております。

消防関係者 秋の叙勲

県内から5名が受章の栄に浴されました。（敬称略）

<p>◆瑞宝双光章 前長野市消防団長 松木道夫</p> <p>◆瑞宝単光章 前小川村消防団長 鎌倉一夫 前下諏訪町消防団長 清水正 前松本市消防団分団長 田中健司 元上松町消防団長 古屋恒治</p>	<p>・優秀章 10団 ・無火災賞 2団 52分団 ・特別無火災賞 28分団 ・功績章 81名 ・永年勤続功労章 291名 ・功労章 225名 ・努力章 198名 ・精進章 296名 ・技術章 198名 ・精勤章 146名 ・退職者感謝状 53名 ・一般個人表彰 4名</p>
---	--

県協会定例表彰

6年度の長野県消防協会定例表彰は、92団（団及び分団）と2,492名を表彰、市町村の出初式等で授与されます。

消防出初式各地で開催

令和7年消防出初式が、新春の1月4日から26日までの間に県下67市町村で実施され、観閲式（分列行進・パレード）及び式典に大勢の団員、関係者が参加しています。6町村は4月に行われます。

知事、副知事及び県協会長の1月の出席は次の通りです。

- ・阿部知事 1月5日小諸市
- ・関副知事 1月5日中野市



関副知事 中野市出初式



阿部知事 小諸市出初式

- ・福澤会長 1月5日松本市、1月11日長野市、1月12日岡谷市、1月13日飯田市



松本市 出初式分列行進



福澤会長 松本市出初式



第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会に参加して



長野県女性消防団員活性化会議会長

須坂市消防団 徳武 洋子



令和6年9月19日、栃木県宇都宮市で行われた「第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会」に長野県からは117名の関係者で参加してきました。当日は新幹線が止まってしまったというアクシデントに見舞われ、残念ながら開会式に参加できなかったという仲間も少なからずいた中でしたが、無事滞りなく大会は開催されました。

活動事例・防火防災啓発劇では7つの消防団から発表があり、災害時に体験したことや過去の災害からの教訓を劇にしたもの、地域の子供たちや住民に向けた啓発活動についての発表があり、どれも興味深く見させていただきました。

また活動事例PR展示ブースではそれぞれに工夫を凝らした展示の数々に、時間を忘れて見入ってしまうものもたくさんあり、自分自身今後の消防団活動において参考になるものばかりでした。また同日に開催された情報交流会では長野県各地から参加した仲間たちと情報交換をしたり、また他県の仲間との名刺交換など会場のあちこちで積極的に大会に参加する様子があったことは参加した人の大切な財産になったのではないかと思います。

翌日はそれぞれの団ごとに帰路に就く団、栃木観光を楽しむ団といろいろあったようです



が、充実した一日を過ごしたようです。

来年は長崎県での開催になります。長野県からは遠く離れた場所になりますが、一人でも多くの女性消防団員の参加が実現され、活動へのエネルギーとなることを願っています。